



議員の質問に答弁する大谷町長

平成16年度

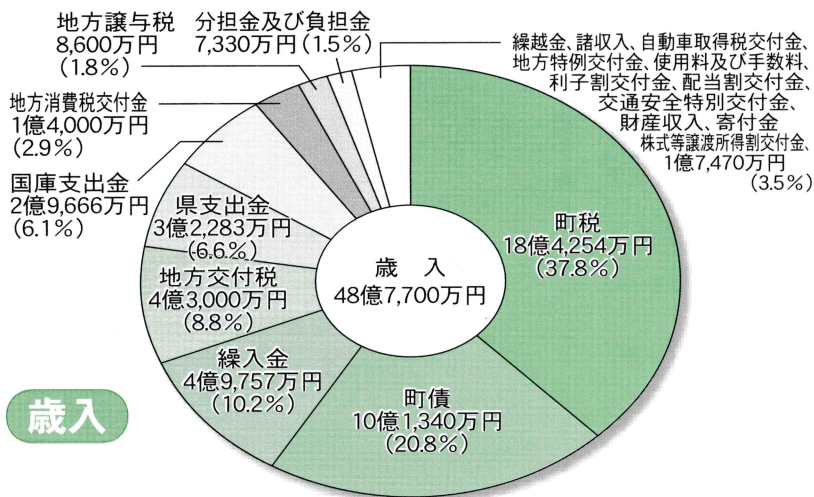
当初予算決まる

一般会計は

48億7,700万円

3月8日から18日まで開かれた平成16年第1回町議会定例会で、新年度予算が決まりました。

■一般会計



歳入

■特別会計／企業会計

特別会計		金額
国民健康保険会計		8億5,300万円
内訳	事業勘定	8億800万円
	施設勘定	4,500万円
老人保健会計		7億1,250万円
介護保険事業会計		3億1,900万円
公共下水道事業会計		5億3,650万円
公共用地先行取得事業会計		6,040万円
農業集落排水事業会計		1億6,500万円
合計		26億4,640万円

企業会計		金額
水道事業会計	収益的収入	5億5,497万円
	収益的支出	5億5,553万円
	資本的収入	280万円
	資本的支出	1億8,922万円
支出合計		7億4,475万円

平成16年度の施政方針

町政運営に関する所信の一端を申し上げます。

まず合併問題でございます。去る1月31日に合併協議会を廃止したところでございますが、当面の間、五霞町単独とし、国の動向を見極めながら、茨城県及び埼玉県との近隣市町の合併状況が見えてきたところで、議会とも十分協議し、町民のみなさまの意向を踏まえ、改めて合併についての方向を決めさせていただくという方針を、昨年末に出させていたいただきました。この考えに変わりはないことを、改めて申し上げます。

次に財政問題でございます。町の財政状況につきましては、地方交付税の削減、国県補助金の廃止・縮減などにより、多額の財源不足が生じており、今までに類を見ない危機的状況に直面しております。

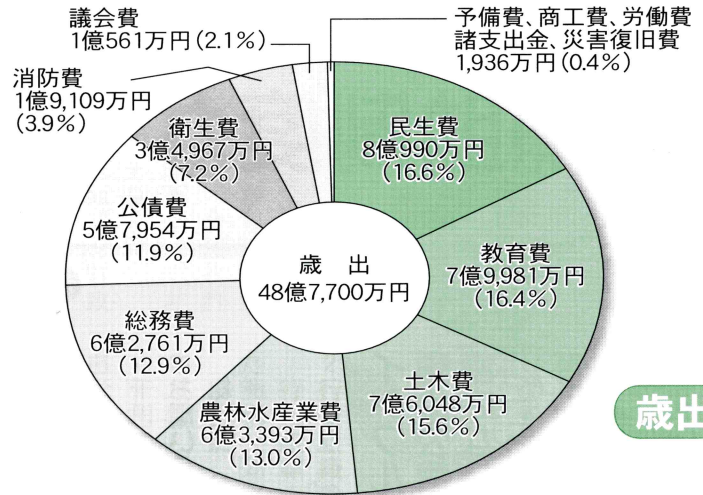
そういう中であって、平成16年度予算を組むにあたり、二つの大きな課題がありました。一つは、いかに住民サービスの低下を、最小限におさえるかということでした。もう一つは、中学校改築工事と道の駅整備事業です。この二つを合わせると、10億になる大きな事業の完成です。これら二つの課題をクリアするために、次のような方針の元に予算編成をさせていただきました。

- ① 新規事業は行わない
 - ② 公共事業の大幅なベースダウン
 - ③ 補助金、助成金のゼロベースに立つての見直し
 - ④ 経常経費（食糧費、消耗品費等）の大幅な削減
 - ⑤ 人件費（報酬等のカット）の削減等々です。
- その結果、臨時的な中学校改築工事、道の駅整備事業、減税補てん債の借換えを除いた、通常ベースの歳出予算では、37億5千万円で、対前年度予算の42億4千万円に比べ、△4億9千万円、△11・5%の減となっております。しかしながら、それでもなお4億5千万円の財源不足が生じ、基金の繰り入れで対応させていただきました。
- さらに平成17年度以降についても、町単独での見直しを付けるため、第3次五霞町行政改革大綱を具体化し、早急に取り組むべき行政改革推進プランとして、五霞町行政改革の方向付けを取りまとめました。
- ① 職員の定数管理の適正化
 - ② 行政組織の簡素・効率化
 - ③ 人事・給与の適正化
 - ④ 経常経費の削減
 - ⑤ 人材育成と職員の意識改革
 - ⑥ 財政の健全化
- などであり、一部実施できるものは16年度予算に反映しております。

町民1人当たり予算額

(人口10,192人 平成16年3月1日現在)

歳出		歳入	
民生費	79,464円	町税	180,783円
教育費	78,474	町債	99,431
土木費	74,615	繰入金	48,820
農林水産業費	62,198	地方交付税	42,190
総務費	61,579	県支出金	31,675
公債費	56,862	国庫支出金	29,107
衛生費	34,309	地方消費税	13,736
消防費	18,749	地方譲与税	8,438
議会費	10,363	分担金及び金	7,192
その他	1,899	その他	17,141
計	478,513	計	478,513



平成16年度の主な事業

1. 生活環境の整備……………5億1,486万円

- 公共下水道事業……………2億3,627万円
・第5次拡張事業（新幸谷・小福田地内）
- 上水道事業……………1,060万円
・配水管布設工事、取水ポンプ設備改修工事等
- 道路整備事業……………1億7,377万円
・町道改良工事、用地買収費、物件補償費等
- し尿・ごみ処理対策事業……………7,563万円
・町内ごみ収集、さしま環境管理事務組合負担金等
- 地籍調査事業……………1,575万円
・山王山・山王・幸主・冬木地区
- 防犯灯設置工事……………100万円
- 通学路等交通安全道路標識設置工事……………184万円

2. 保健・福祉事業……………4億5,025万円

- 障害者福祉事業……………7,127万円
・居宅生活支援費、施設訓練等支援費、障害者福祉手当、補装具購入扶助等
- 老人福祉事業……………9,117万円
・在宅福祉サービス、老人医療給付費、利根老人ホーム負担金、地域ケアシステム等

- 医療福祉扶助事業……………4,082万円
・妊産婦、乳児、幼児、障害者、老人等の医療費補助
- 介護予防事業……………3,828万円
- 福祉センター運営事業……………3,584万円
- 保育所運営事業……………1億4,127万円
- 住民検診事業……………2,388万円
・結核、肺ガン、胃ガン、大腸ガン等
- 予防接種事業……………772万円
・風疹、麻疹、日本脳炎、インフルエンザ等

3. 教育施設等整備……………4億2,914万円

- 中学校校舎改築工事……………4億1,580万円
- 公民館管理運営事業……………1,334万円
・各種講座の開催、本館階段裏アスベスト（改修）工事等

4. 地域産業の振興……………5億5,457万円

- （仮）道の駅ごか整備事業……………5億1,889万円
・造成外構工事、地域食材供給施設建設費、株式会社設立資本金出資金等
- 生産調整推進事業……………3,568万円

また、健康維持・増進を図れるよう自己健康管理を支援する

促進いたします。また、健康維持・増進を図れるよう自己健康管理を支援する

3 健康やかで安らぎのある暮らしづくり
高齢者や障害者などが生きがいと安らぎをもって生活できるよう、地域住民の連帯と相互扶助の精神に基づき、地域福祉を促進いたします。

2 安全で快適な環境づくり
生活環境整備の分野では、田園空間整備事業により（仮）ふれあい公園の整備を進めてまいります。また、公害のないまちづくりを推進しごみ処理では、分別収集の徹底を図り、ごみの減量化に努めます。

1 緑豊かな美しい基盤づくり
生活基盤である下水道事業においては、第5次拡張事業を推進してまいります。また、上水道事業におきましては、さらなるコストの縮減を図り、効率的な運営に努めてまいります。

さらに、都市計画道路の整備を図りながら、幹線道路網の整備を引き続き進めてまいります。

さらに平成16年度は、この方向付けの具体化に全庁をあげて取り組むとともに、近隣市町村の合併や経済の動向を踏まえ、さらなる行政のスリム化に努力してまいります。

また、健康維持・増進を図れるよう自己健康管理を支援する

また、健康維持・増進を図れるよう自己健康管理を支援する

6 ふれあいと住民参加のまちづくり
住民への情報提供や住民ニーズの把握に努め、住民と行政が一体となったまちづくりを進めます。

また、圏央道インターチェンジ周辺の開発構想については、県の理解も深まっており、再度実現に向けて努力してまいります。

5 活力ある地域産業の振興
本町の農業の活性化、さらに地域経済の活性化につながる道の駅ごかの早期完成を目指します。

4 個性の輝く心豊かな人づくり
安全な教育環境づくりを進め、豊かな個性や生きる力を身につけるため、教育内容の充実を図ります。

また、住民の自主的な学習活動を推進し、学習機会の提供、学習団体の育成に努めます。